

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 人間の尊厳と自立	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 5時間	配当学年・時期 ・無資格者：3ヶ月目 ・初任者研修：免除 ・ヘルパ [®] -2級：免除 ・ヘルパ [®] -1級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>○ 尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等、介護の基本的な理念を理解している。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>人間の尊厳と自立</p> <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>○ 尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等、介護の基本的な理念を理解している。</p>			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>○人間の多面的な理解と尊厳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間を理解するということ ・人間の尊厳の意義 ・人権、そして尊厳をめぐる歴史的経緯 ・人権、そして尊厳に関する諸規定 <p>○自立・自律の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における自立 ・自立への意欲と動機づけ ・自立した生活を支えるための援助の視点 ・介護における自立支援の実践 <p>○人権と尊厳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における権利擁護と人権尊重 ・介護における尊厳保持の実践 ・尊厳を無視した介護の課題 ・ノーマライゼーションの実現 			

・プライバシーの保護

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト
【第1巻】人間と社会

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 社会の理解 I	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 5 時間	配当学年・時期 ・無資格者：2 ヶ月目 ・初任者研修：免除 ・ヘルパ [®] -2 級：免除 ・ヘルパ [®] -1 級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>○ 介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>介護保険制度</p> <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>○ 介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。</p>			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>○介護保険制度創設の背景と目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の創設をめぐる社会的背景 ・1990 年代までの高齢者介護の制度と社会福祉基礎構造改革 ・介護保険制度の基本理念 <p>○介護保険制度の基礎的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の概要 ・保険者・被保険者 ・保険給付の対象者 ・保険給付までの流れ ・保険給付の種類と内容 ・地域支援事業 ・国、都道府県、市町村の役割 ・その他の組織の役割 ・介護保険の財政 <p>○介護保険制度の基礎的理解</p>			

- ・介護職の役割
- ・介護支援専門員の役割
- ・その他の専門職の役割

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト
【第1巻】人間と社会

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 社会の理解Ⅱ	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 30 時間	配当学年・時期 ・無資格者：2ヶ月目 ・初任者研修：2ヶ月目 ・ヘルパ-2級：2ヶ月目 ・ヘルパ-1級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる。 ○ 社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を修得している。 ○ 障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。 ○ 成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要を理解している。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生活と福祉 ②社会保障制度 ③障害者自立支援制度 ④介護実践に関連する諸制度 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる。 ○ 社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を修得している。 ○ 障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。 ○ 成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要を理解している。 			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活と福祉 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活の基本機能 ・家族 ・地域 ・社会集団と組織 ・ライフスタイルの変化 			

○社会保障制度

- ・ 社会保障の役割、意義と歴史
- ・ 社会保障の目的と機能
- ・ 社会保障の範囲と対象
- ・ わが国の社会保障制度のしくみ
- ・ 年金保険
- ・ 医療保険
- ・ 後期高齢者医療制度
- ・ 雇用保険
- ・ 労働者災害補償保険
- ・ 公的扶助
- ・ 社会手当
- ・ 社会福祉

○障害者自立支援制度

- ・ 障害の種類と定義
- ・ 障害者自立支援法から障害者総合支援法へ
- ・ サービスの種類と内容
- ・ サービス利用の流れ
- ・ 自立支援給付と利用者負担
- ・ 障害者自立支援制度における事業者と施設
- ・ 障害者自立支援制度における組織、団体の機能と役割
- ・ ライフサイクルからみた支援組織

○介護実践にかかわる諸制度

- ・ サービスの利用にかかわる諸制度
- ・ 虐待防止の諸制度
- ・ 人々の権利を擁護するその他の諸制度
- ・ 保険医療にかかわる諸制度
- ・ 医療にかかわる諸制度
- ・ 生活を支える諸制度
- ・ 住生活を支援する諸制度

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト
【第1巻】人間と社会

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 介護の基本 I	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 10 時間	配当学年・時期 ・無資格者：2ヶ月目 ・初任者研修：免除 ・ヘルパ－2級：免除 ・ヘルパ－1級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護福祉士制度の沿革、法的な定義・業務範囲・義務等を理解している。 ○ 個別ケア、ICF（国際生活機能分類）、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。 ○ 介護福祉士職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守している。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①介護福祉士制度 ②尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開 ③介護福祉士の倫理 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護福祉士制度の沿革、法的な定義・業務範囲・義務等を理解している。 ○ 個別ケア、ICF（国際生活機能分類）、リハビリテーションの考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。 ○ 介護福祉士職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守している。 			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護福祉士の制度 <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士を取り巻く状況 ・介護福祉士及び介護福祉士法 ・介護人材のキャリアパス ・介護人材の確保対策 ○尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に合わせた生活支援 ・自立に向けた支援 ・自立に向けた I C F の考え方 			

<ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けたリハビリテーションの考え方 ・自立に向けた個別ケアの考え方 ・介護の専門性 <p>○介護福祉士の倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士としての倫理の必要性 ・日本介護福祉士会倫理綱領 	
<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>中央法規出版株式会社 介護福祉士実務者研修テキスト 【第2巻】介護Ⅰ－介護の基本、コミュニケーション技術、生活支援術－</p>	<p>【単位認定の方法及び基準】</p> <p>レポート課題にて判定する。</p>

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 介護の基本Ⅱ	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 20 時間	配当学年・時期 ・無資格者：2ヶ月目 ・初任者研修：1ヶ月目 ・ヘルパ－2級：免除 ・ヘルパ－1級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。 ○ チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得している。 ○ リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得している。 ○ 介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得している。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①介護を必要とする人の生活の理解と支援 ②介護実践における連携 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護福祉士の安全 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。 ○ チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得している。 ○ リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得している。 ○ 介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得している。 			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護を必要とする人の生活の理解と支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「その人らしさ」の理解 ・高齢者の暮らしと支援の実際 ・障害のある人の暮らしと支援の実際 ・介護を必要とする人の生活環境の理解 ○介護実践における連携 <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携 ・地域連携 			

○介護における安全の確保とリスクマネジメント

- ・事故防止と安全対策
- ・感染対策

○介護福祉士の安全

- ・健康管理の意義と目的
- ・健康管理に必要な知識と技術
- ・安心して働ける環境づくり

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社

介護福祉士実務者研修テキスト

【第2巻】介護Ⅰ－介護の基本、コミュニケーション技術、生活支援術－

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） コミュニケーション技術	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 20 時間	配当学年・時期 ・無資格者：1ヶ月目 ・初任者研修：1ヶ月目 ・ヘルパ-2級：1ヶ月目 ・ヘルパ-1級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を修得している。 ○ 援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。 ○ 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。 ○ 状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①介護におけるコミュニケーション技術 ②介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション ③介護におけるチームのコミュニケーション <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を修得している。 ○ 援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。 ○ 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。 ○ 状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。 			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護におけるコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法 ○介護におけるコミュニケーション技術 <ul style="list-style-type: none"> ・話を聴く技法 ・利用者の感情表現を察する技法 ・利用者の納得と同意を得る技法 ・質問の技法 ・相談、助言、指導の技法 			

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意欲を引き出す技法 ・利用者と家族の意向を調整する技法 <p>○介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション障害の理解 ・視力の障害に応じたコミュニケーション技術 ・聴力の障害に応じたコミュニケーション技術 ・高次脳機能障害に応じたコミュニケーション技術 ・失語症に応じたコミュニケーション技術 ・構音障害に応じたコミュニケーション技術 ・認知症に応じたコミュニケーション技術 <p>○介護におけるチームのコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームのコミュニケーションとは ・記録による情報の共有化 ・報告、連絡、相談による情報の共有化 ・会議による情報の共有化 	
<p>【使用テキスト・参考文献】 中央法規出版株式会社 介護福祉士実務者研修テキスト 【第2巻】介護Ⅰ－介護の基本、コミュニケーション技術、生活支援術－</p>	<p>【単位認定の方法及び基準】 レポート課題にて判定する。</p>

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 生活支援技術 I	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 20 時間	配当学年・時期 ・無資格者：5.6 ヶ月目 ・初任者研修：免除 ・ヘルパ - 2 級：免除 ・ヘルパ - 1 級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活支援における ICF の意義と枠組みを理解している。 ○ ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施できる。 ○ 介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）を修得している。 ○ 居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の環境を整備する視点・留意点を理解している。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生活支援と ICF ②ボディメカニクスの活用 ③介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、脱着、整容、口腔清潔、家事援助等） ④環境整備、福祉用具活用等の視点 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活支援における ICF の意義と枠組みを理解している。 ○ ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施できる。 ○ 介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）を修得している。 ○ 居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の環境を整備する視点・留意点を理解している。 			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活支援と ICF <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援とアセスメント ・ ICF の視点とアセスメント ○居住環境の整備と福祉用具の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・居住環境の意義 ・生活空間と介護 			

<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の活用 ○移動・移乗の介護技術の基本 <ul style="list-style-type: none"> ・移動、移乗の介助を行うにあたって ・体位変換の介助 ・車いすの介助 ・歩行の介助 ○食事の介護技術の基本 <ul style="list-style-type: none"> ・食事の介助を行うにあたって ・食事の介助 ○入浴・清潔保持の介護技術の基本 <ul style="list-style-type: none"> ・入浴の介助を行うにあたって ・入浴の介助 ・部分浴の介助 ・清潔保持の介助 ○排泄の介護技術の基本 <ul style="list-style-type: none"> ・排泄の介助を行うにあたって ・排泄の介助 ○着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本 <ul style="list-style-type: none"> ・身じたくの介助を行うにあたって ・衣服着脱の介助 ・整容の介助 ・口腔清潔の介助 ○家事援助の基本 <ul style="list-style-type: none"> ・生活と家事の理解 ・調理 ・洗濯 ・清掃、ごみ捨て ・衣服の補修、裁縫 ・衣服、寝具の衛生管理 ・買い物 	
<p>【使用テキスト・参考文献】 中央法規出版株式会社 介護福祉士実務者研修テキスト 【第2巻】介護Ⅰー介護の基本、コミュニケーション技術、生活支援術ー</p>	<p>【単位認定の方法及び基準】 レポート課題にて判定する。</p>

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 生活支援技術Ⅱ	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 30 時間	配当学年・時期 ・無資格者：5.6 ヶ月目 ・初任者研修：免除 ・ヘルパ [®] -2 級：免除 ・ヘルパ [®] -1 級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>○ 以下について、利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備を行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動、移乗 ・ 食事 ・ 入浴、清潔保持 ・ 排泄 ・ 着脱、整容、口腔清潔 ・ 睡眠 ・ 終末期の介護 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>①利用者の心身の状況に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動・移乗 ・ 食事 ・ 入浴、清潔保持 ・ 排泄 ・ 脱着、整容、口腔清潔 ・ 睡眠 ・ 終末期の介護 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>○ 以下について、利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備を行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動、移乗 ・ 食事 ・ 入浴、清潔保持 ・ 排泄 ・ 着脱、整容、口腔清潔 			

- ・ 睡眠
- ・ 終末期の介護

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

○移動・移乗の介護

- ・ 体位変換の介助
- ・ 車いすの介助
- ・ 安楽な体位の保持と褥瘡の予防
- ・ 歩行の介助
- ・ 移動、移乗に関する福祉用具とその活用方法

○食事の介護

- ・ 食事の介助
- ・ 食事に関する福祉用具とその活用方法
- ・ 誤嚥、窒息の予防

○入浴・清潔保持の介護

- ・ 入浴の介助
- ・ 入浴に関する福祉用具とその活用方法

○排泄の介護

- ・ 排泄の介助
- ・ 排泄に関する福祉用具とその活用方法
- ・ 頻尿、尿失禁、便秘、下痢、便失禁への対応
- ・ その他の排泄に関するさまざまな介助

○着脱、整容、口腔清潔の介護

- ・ 衣服着脱の介助
- ・ 整容の介助
- ・ 口腔清潔の介助

○睡眠の介護

- ・ 睡眠の介助を行うにあたって
- ・ 睡眠の介助
- ・ 睡眠に関する用具とその活用方法
- ・ 睡眠と薬

○終末期の介護

- ・ 終末期の介護を行うにあたって
- ・ 終末期の介護
- ・ 介護職、家族への支援

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト
【第2巻】介護Ⅰ－介護の基本、コミュニケーション技術、生活支援術－

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 介護過程 I	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 20 時間	配当学年・時期 ・無資格者：1 ヶ月目 ・初任者研修：免除 ・ヘルパ - 2 級：免除 ・ヘルパ - 1 級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護過程の目的、意義、展開等を理解している。 ○ 介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う。 ○ チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種の役割を理解している。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①介護過程の基礎的知識 ②介護過程の展開 ③介護過程とチームアプローチ <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護過程の目的、意義、展開等を理解している。 ○ 介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う。 ○ チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種の役割を理解している。 			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護過程の意義と目的 <ul style="list-style-type: none"> ・介護の概念の見直し ・根拠にもとづいた介護の実践 ・介護過程の必要性 ○介護過程の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の展開イメージ ・アセスメント ・計画の立案 ・実施 ・評価 ○介護過程とチームアプローチ 			

- ・ 介護過程とケアマネジメントの関係性
- ・ 介護過程とチームアプローチ
- ・

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト
【第3巻】介護Ⅱ－介護過程－

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 介護過程Ⅱ	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 25 時間	配当学年・時期 ・無資格者：1ヶ月目 ・初任者研修：1ヶ月目 ・ヘルパ-2級：1ヶ月目 ・ヘルパ-1級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>○ 情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>介護過程の展開の実際</p> <p>①利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）について事例を設定し、介護過程を展開させる。</p> <p>②観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携等についても考察させる。</p> <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>○ 情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。</p>			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>○介護職による介護過程の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の実践のなかにある介護過程 ・思考過程の訓練 ・ケアマネジメントをふまえた介護過程の展開 <p>○介護過程の実践的展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例で学ぶ介護過程の展開 ・取り上げる事例と構成 <p>○施設で暮らす高齢者の介護過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のプロフィール ・家族構成および生活歴 ・現在の状況 ・Aさんのフェイスシート ・Aさんのアセスメント表（1） ・Aさんのアセスメント表（2） 			

- ・ Aさんの介護計画書
- ・ Aさんの実施評価表
- ・ 【解説】 Aさんの介護過程について

○在宅で暮らす高齢者の介護過程

- ・ 利用者のプロフィール
- ・ 家族構成および生活歴
- ・ 現在の状況
- ・ Bさんのフェイスシート
- ・ Bさんのアセスメント表（1）
- ・ Bさんのアセスメント表（2）
- ・ Bさんの介護計画書
- ・ Bさんの実施評価表
- ・ 【解説】 Bさんの介護過程について

○事例

- ・ 介護老人福祉施設で生活するTさんの事例
- ・ 利用者のプロフィール
- ・ 家族構成および生活歴
- ・ 現在の状況
- ・ Tさんのフェイスシート
- ・ Tさんのアセスメント表（1）
- ・ Tさんのアセスメント表（2）
- ・ Tさんの介護計画書

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
 介護福祉士実務者研修テキスト
 【第3巻】介護Ⅱ－介護過程－

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 介護過程Ⅲ		授業の種類 面接授業		授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹	
授業の回数	時間数（単位数） 45 時間	配当学年・時期 ・無資格者： 2 ヶ月目～3 ヶ月目 ・初任者研修： 2 ヶ月目～3 ヶ月目 ・ヘルパ [®] -2 級： 2 ヶ月目～3 ヶ月目 ・ヘルパ [®] -1 級： 2 ヶ月目～3 ヶ月目 ・基礎研修：免除		必須・選択 必須	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できる。 ○ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できる。 ○ 介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ○ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>①介護過程の展開の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用した分析力・応用力を評価する。 <p>②介護技術の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護技術の原理原則の修得・実践とともに、知識・技術を総合的に活用した判断力、応用力を評価する。 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できる。 ○ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できる。 ○ 介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ○ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。 					

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

○利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開

- ・利用者のさまざまな暮らしと介護過程の展開
- ・第3章で取り上げる事例の特徴
- ・演習の進め方

○事例1

- ・片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた支援
- ・利用者のプロフィール
- ・家族構成および生活歴
- ・現在の状況
- ・Kさんのフェイスシート
- ・Kさんのアセスメント表（1）
- ・Kさんのアセスメント表（2）
- ・Kさんの介護計画書
- ・Kさんの実施評価表
- ・【解説】Kさんの介護過程について
- ・演習～Kさんの自立に向けた介護の実際（移動・移乗の介護）～
- ・確認、評価してみよう！

○事例2

- ・在宅で終末期を迎える高齢者と家族の生活支援
- ・利用者のプロフィール
- ・家族構成および生活歴
- ・現在の状況
- ・Nさんのフェイスシート
- ・Nさんのアセスメント表（1）
- ・Nさんのアセスメント表（2）
- ・Nさんの介護計画書
- ・Nさんの実施評価表
- ・【解説】Nさんの介護過程について
- ・演習～Nさんの自立に向けた介護の実際（食事、身だしなみ、排泄の介護）～
- ・確認、評価してみよう！

○事例3

- ・都会に住む一人暮らしの高齢者の生活支援
- ・利用者のプロフィール
- ・家族構成および生活歴
- ・現在の状況
- ・Fさんのフェイスシート
- ・Fさんのアセスメント表（1）
- ・Fさんのアセスメント表（2）
- ・Fさんの介護計画書

- ・ F さんの実施評価表
- ・ 【解説】 F さんの介護過程について
- ・ 演習～F さんの自立に向けた介護の実際（移動・移乗、排泄の介助）～
- ・ 確認、評価してみよう！

○事例 4

- ・ 介護老人保健施設で生活する利用者への支援
- ・ 利用者のプロフィール
- ・ 家族構成および生活歴
- ・ 現在の状況
- ・ S さんのフェイスシート
- ・ S さんのアセスメント表（1）
- ・ S さんのアセスメント表（2）
- ・ S さんの介護計画書
- ・ S さんの実施評価表
- ・ 【解説】 S さんの介護過程について
- ・ 演習～S さんの自立に向けた介護の実際（衣服の着脱、入浴の介護）～
- ・ 確認、評価してみよう！

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト
【第 3 巻】介護Ⅱ－介護過程－

【単位認定の方法及び基準】

評価チェックリストを使用し、評価を行う。A 判定を 6 割以上で合格とする。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 発達と老化の理解 I		授業の種類 通信授業（自宅学習）		授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 10 時間	配当学年・時期 ・無資格者：4ヶ月目 ・初任者研修：4ヶ月目 ・ヘルパ [®] -2級：4ヶ月目 ・ヘルパ [®] -1級：免除 ・基礎研修：免除		必須・選択 必須	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>○ 老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。</p> <p>○ 老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>①老化に伴う心の変化と日常生活への影響</p> <p>②老化に伴うからだの変化と日常生活への影響</p> <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>○ 老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。</p> <p>○ 老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。</p>					
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>○こころの変化と日常生活への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老化が及ぼす心理的影響 ・自己概念と生きがい <p>○からだの変化と日常生活への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う身体機能の変化と日常生活への影響 ・さまざまな機能の変化 					
<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>中央法規出版株式会社 介護福祉士実務者研修テキスト 【第4巻】こころとからだのしくみ</p>			<p>【単位認定の方法及び基準】</p> <p>レポート課題にて判定する。</p>		

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 発達と老化の理解Ⅱ	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 20 時間	配当学年・時期 ・無資格者：4ヶ月目 ・初任者研修：4ヶ月目 ・ヘルパ [®] -2級：4ヶ月目 ・ヘルパ [®] -1級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。 ○ 老年期の発達課題、心理的な課題（老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等）と支援の留意点について理解している。 ○ 高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人間の成長。発達 ②老年期の発達・成熟と心理 ③高齢者に多い症状・疾病等と留意点 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。 ○ 老年期の発達課題、心理的な課題（老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等）と支援の留意点について理解している。 ○ 高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している。 			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人間の成長・発達 <ul style="list-style-type: none"> ・発達の定義 ・発達段階と発達課題 ○老年期の発達・成熟と心理 <ul style="list-style-type: none"> ・老年期の定義 ・老年期の心理的課題と適応 ・要介護状態と高齢者の心理 ・不適応状態を緩和する心理 			

○高齢者に多くみられる症状・疾病等

- ・高齢者に多くみられる症状、訴えとその留意点
- ・介護を要する高齢者によくみられる病気、病態

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト
【第4巻】 ころとからだのしくみ

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 認知症の理解 I	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 10 時間	配当学年・時期 ・無資格者：4ヶ月目 ・初任者研修：免除 ・ヘルパ [®] -2級：4ヶ月目 ・ヘルパ [®] -1級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症ケアの取り組みの経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解している。 ○ 認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ○ 認知症の人やその家族に対する関わり方の基本を理解している。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①認知症ケアの理念 ②認知症による生活障害、心理・支援の基本 ③認知症の人とのかかわり・支援の基本 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症ケアの取り組みの経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解している。 ○ 認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ○ 認知症の人やその家族に対する関わり方の基本を理解している。 			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症ケアの理念と視点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアの理念 ・ 認知症ケアの視点 ○認知症による生活障害、心理・行動の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「人」と「生活」の理解 ・ 認知症ケアはなぜ「人」と「生活」に焦点をあてる必要があるのか ・ 認知症の中核症状 ・ 認知症の行動、心理症状（B P S D） ・ 意識障害の理解 ○認知症の人とのかかわり・支援の基本 			

- ・ 認知症の人にかかわる際の前提
- ・ 実際のかかわり方の基本

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト
【第4巻】 こととからだのしくみ

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 認知症の理解Ⅱ	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 20 時間	配当学年・時期 ・無資格者：4ヶ月目 ・初任者研修：4ヶ月目 ・ヘルパ [®] -2級：4ヶ月目 ・ヘルパ [®] -1級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 代表的な認知症（若年性認知症を含む）の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。 ○ 認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ○ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①医学的側面から見た認知症の理解 ②認知症の人や家族への支援の実際 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 代表的な認知症（若年性認知症を含む）の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。 ○ 認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ○ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。 			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医学的側面からみた認知症の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症とは ・認知症の診断 ・認知症の原因疾患とその病態 ・認知症の治療と予防 ○認知症の人や家族への支援の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症のアセスメント ・初期の認知症への介護 			

- ・ 中期の認知症への介護
- ・ 後期の認知症への介護
- ・ 環境の整備
- ・ 認知症ケアにおけるチームアプローチ
- ・ 地域のサポート体制
- ・ 家族介護者の理解
- ・ 家族へのレスパイトケア
- ・ 家族へのエンパワメント

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト
【第4巻】 ことろとからだのしくみ

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 障害の理解 I		授業の種類 通信授業（自宅学習）		授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 10 時間	配当学年・時期 ・無資格者：5.6 ヶ月目 ・初任者研修：免除 ・ヘルパ [®] -2 級：4 ヶ月目 ・ヘルパ [®] -1 級：免除 ・基礎研修：免除		必須・選択 必須	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障害の概念や変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。 ○ 障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ○ 障害児者やその家族に対する関わり・支援の基本を理解している。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①障害者福祉の理念 ②障害による生活障害、心理・行動の特徴 ③障害児者や家族へのかかわり・支援の基本 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障害の概念や変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。 ○ 障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ○ 障害児者やその家族に対する関わり・支援の基本を理解している。 					
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害者福祉の理念 <ul style="list-style-type: none"> ・「障害」をどうみるのか ・国際障害分類と国際生活機能分類 ・障害者福祉の基本理念 ○障害者による生活障害、心理・行動の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・障害の定義 ・身体障害による生活上の障害と心理、行動の特徴 ・知的障害による生活上の障害と心理、行動の特徴 ・精神障害による生活上の障害と心理、行動の特徴 ・高次脳機能障害による生活上の障害と心理、行動の特徴 ・発達障害による生活障害、心理、行動の特徴 					

<ul style="list-style-type: none">・ 難病による心理、行動の特徴と援助 <p>○障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本</p> <ul style="list-style-type: none">・ 障害児、者へのかかわり、支援の基本・ 家族の理解と障害の受容支援・ 介護負担の軽減	
<p>【使用テキスト・参考文献】 中央法規出版株式会社 介護福祉士実務者研修テキスト 【第4巻】 ころとからだのしくみ</p>	<p>【単位認定の方法及び基準】 レポート課題にて判定する。</p>

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 障害の理解Ⅱ	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 20 時間	配当学年・時期 ・無資格者：5.6 ヶ月目 ・初任者研修：4 ヶ月目 ・ヘルパ [®] -2 級：4 ヶ月目 ・ヘルパ [®] -1 級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を修得している。 ○ 障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ○ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①医学的側面からみた障害の理解 ②障害児者への支援の実際 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を修得している。 ○ 障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ○ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。 			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医学的側面からみた障害の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害 ・聴覚、言語障害 ・運動機能障害 ・心臓機能障害 ・腎臓機能障害 ・呼吸機能障害 ・膀胱、直腸機能障害 ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害 ・肝臓機能障害 			

- ・知的障害
- ・精神障害
- ・高次脳機能障害
- ・発達障害
- ・難聴

○障害児・者への支援の実際

- ・基本的視点にもとづいた個別支援
- ・家族の状態の把握と介護負担の軽減
- ・地域におけるサポート体制

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト
【第4巻】 心とからだのしくみ

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） こころとからだのしくみ I	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 20 時間	配当学年・時期 ・無資格者：5.6 ヶ月目 ・初任者研修：免除 ・ヘルパ [®] -2 級：免除 ・ヘルパ [®] -1 級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>○ 介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を修得している。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔等）</p> <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>○ 介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を修得している。</p>			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>○移動・移乗に関連するからだのしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な姿勢 ・基本的なからだのしくみ <p>○食事に関連するからだのしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なからだのしくみ ・栄養素とエネルギー <p>○入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なからだのしくみ ・入浴と清潔保持の意味 <p>○排泄に関連するからだのしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なからだのしくみ <p>○着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なからだのしくみ ・着脱、整容、口腔清潔の意味 <p>○睡眠に関連するからだのしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なからだのしくみ 			

・こころのしくみ

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト
【第4巻】こころとからだのしくみ

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） こころとからだのしくみⅡ	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 川根博之、池田睦美、石田麻子、太田直樹、 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 60 時間	配当学年・時期 ・無資格者：5.6 ヶ月目 ・初任者研修：2 ヶ月目 ・ヘルパ [®] -2 級：2 ヶ月目 ・ヘルパ [®] -1 級：免除 ・基礎研修：免除	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を修得している。 ○ 生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を修得している。 ○ 身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人間の心理 ②人体の構造と機能 ③身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動・移乗 ・ 食事 ・ 入浴・清潔保持 ・ 排泄 ・ 着脱、整容、口腔清潔 ・ 睡眠 ・ 終末期の介護 <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を修得している。 ○ 生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を修得している。 ○ 身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。 			

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

- 人間の心理
 - ・人間の欲求の基本的理解
 - ・こころのしくみの基礎
- 人体の構造と機能
 - ・生命の維持、恒常のしくみ
 - ・人間のからだのしくみ
 - ・ボディメカニクスの活用
- 移動・移乗における観察のポイント
 - ・移動、移乗を阻害する要因の理解
 - ・変化に気づくための観察のポイント
 - ・医療職との連携のポイント
- 食事における観察のポイント
 - ・食事を阻害する要因の理解
 - ・変化に気づくための観察のポイント
 - ・医療職との連携のポイント
- 入浴・清潔保持における観察のポイント
 - ・入浴を阻害する要因の理解
 - ・変化に気づくための観察のポイント
 - ・医療職との連携のポイント
- 排泄における観察のポイント
 - ・排泄を阻害する要因の理解
 - ・変化に気づくための観察のポイント
 - ・医療職との連携のポイント
- 着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント
 - ・身じたくを阻害する要因の理解
 - ・変化に気づくための観察のポイント
 - ・医療職との連携のポイント
- 睡眠における観察のポイント
 - ・睡眠を阻害する要因の理解
 - ・変化に気づくための観察のポイント
- 終末期における観察のポイント
 - ・終末期の理解
 - ・終末期の変化の特徴
 - ・死後の対応
 - ・医療職との連携のポイント
 - ・家族へのケア

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

介護福祉士実務者研修テキスト
【第4巻】こころとからだのしくみ

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 医療的ケア	授業の種類 通信授業（自宅学習）	授業担当者 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 50 時間	配当学年・時期 ・無資格者：3ヶ月目 ・初任者研修：3ヶ月目 ・ヘルパ-2級：3ヶ月目 ・ヘルパ-1級： 1ヶ月目～3ヶ月目 ・基礎研修： 1ヶ月目～3ヶ月目 （追加募集の場合は1ヶ月目）	必須・選択 必須
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>○ 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>①医療的ケア実施の基礎</p> <p>②喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）</p> <p>③経管栄養（基礎的知識・実施手順）</p> <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>○ 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。</p>			
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>○医療的ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喀痰吸引等制度（社会福祉士及び介護福祉士法の改正） ・ 医療的ケアと喀痰吸引等の背景 ・ 医行為について ・ その他の制度 <p>○安全な療養生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 ・ 救急蘇生 <p>○清潔保持と感染予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染予防 ・ 介護職員の感染予防 ・ 療養環境の清潔、消毒法 ・ 消毒と滅菌 			

○健康状態の把握

- ・身体、精神の健康
- ・健康状態を知る項目（バイタルサインなど）
- ・急変状態について

【喀痰吸引】

○高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論

- ・高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論

○高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説

- ・高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説

【経管栄養】

○高齢者および障害児・者の経管栄養概論

- ・高齢者および障害児・者の経管栄養概論

○高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説

- ・高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説

【使用テキスト・参考文献】

中央法規出版株式会社
介護福祉士実務者研修テキスト

【第5巻】医療的ケア

【単位認定の方法及び基準】

レポート課題にて判定する。

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 医療的ケア（演習）		授業の種類 面接授業		授業担当者 石井美千代、石村麻由美、河田良枝、 廣田ひとみ	
授業の回数	時間数（単位数） 12 時間	配当学年・時期 ・無資格者：4ヶ月目 ・初任者研修：4ヶ月目 ・ヘルパ [®] -2級：4ヶ月目 ・ヘルパ [®] -1級：4ヶ月目 ・基礎研修：4ヶ月目 (追加募集の場合は2ヶ月目)		必須・選択 必須	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>○ 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>医療的ケア演習</p> <p>【授業修了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>○ 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。</p>					
<p>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</p> <p>○喀痰吸引のケア実施の手引き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内および鼻腔内 ・気管カニューレ内部 <p>○経管栄養のケア実施の手引き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養 ・半固形化栄養剤による胃ろうまたは腸ろうの経管栄養 ・経鼻経管栄養 <p>○救急蘇生法の手引き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急蘇生法 ・AED使用の手順 					
<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>中央法規出版株式会社 介護福祉士実務者研修テキスト 【第5巻】医療的ケア</p>			<p>【単位認定の方法及び基準】</p> <p>たんの吸引（口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部）と経管栄養（胃ろう又は腸ろう、経鼻経管栄養）の5つのケアの種類ごとに5回以上の演習を実施。評価票の全ての項目について講師の評価結果が</p>		

	「手順通りに実施できている」とされた場合に認定とする。
--	-----------------------------